

要求実現

日本共産党は、住民のみなさんと力をあわせ、地域の要求実現に取り組んでいます。この秋、長年の運動が実を結び、嬉しいニュースが届きました。

住民と一緒に住みよい街へ 願い受けとめ運動、実る

日本共産党



99年3月、JR北海道に要望書を提出

JR平和駅のホームに屋根

北都

平和駅ができた当初から利用者や地域の方と運動をすすめる、駅員の配置やトイレ、公衆電話、エレベーターの設置などを実現してきました。今回、99年からJR北海道と交渉し要望してきただけで、駅ホームの屋根設置が決まり、工事が始まっています。利用者や署名運動をしてきた皆さんから喜びの声が上がっています。

渉を何度も行い、議会でも取り上げ、今年度の着工が決まったものです。

信号機設置と道路整備

菊水元町

3年前に、菊水元町4条2丁目の変形交差点が危険だという声から、「信号機設置を求むる会」として、今年9月、市が交差点の道路整備を行い、道警で信号を設置する

署名運動や市との交渉を求むる会」として、今年9月、市が交差点の道路整備を行い、道警で信号を設置する

るといふ知らせが届きました。さつそく、伊藤市議も協力して「道路整備説明会」を開催。土木センターの方に工事の説明を受け、この交差点だけでなく、7条米里通にも周形式信号機が設置されることになりました。

伊藤りち子の議会報告

福祉除雪の拡充

福祉除雪制度は、賃貸住宅が対象でないことから利用できない高齢者や障がいをもつ方がいることをふまえ、制度の拡充を求めました。

市は、福祉協議会で個々に要望や相談に応じると答弁しました。

菊水駅エレベーターを早く

地下鉄菊水駅のエレベーター設置が遅れていることから、



10月14日、道路説明会の様子

早く予算を計上して設置をするよう求めたのに対し、できるだけ早期に行いたいと答弁しました。

子どものいる世帯に配慮

収入の減少で料金が払えず水道や電気を止められる世帯が増えています。子どもがいる世帯には、滞納を理由にすぐ水道を止めるようなことはせずに、子どもを育成する立場で、あたたかい配慮を求めました。

収入の減少で料金が払えず水道や電気を止められる世帯が増えています。子どもがいる世帯には、滞納を理由にすぐ水道を止めるようなことはせずに、子どもを育成する立場で、あたたかい配慮を求めました。

そうだん日記④

「病院へ行くお金がない」と事務所に来たK子さん。末期がんを宣告され入院して一ヶ月、子どもらに見守られながら旅立った。家族には「入院個室料」という数万円の請求が残された。

病状により必要である場合、「実費徴収」(今回のケースでは個室の差額ベット料)は求めてはならないという厚生省通達がある。知らずに払っている例もあり、見過ごすことのできない問題である。(R)

災害時の緊急貸付

台風被害を受けた市民に対し、災害住宅補修資金の受付をただちに開始すること、融資額の拡大、無利子または超低金利で貸付すること

を求め、9月10日、札幌市に要望書を提出しました。